



夏休みをむかえる
みなさんへ…



なつやすみに これよんで!

これまでの「なつやすみに これよんで!」から本をしょうかいします。

タイトル	著者 (書いた人)	出版社	出版年	請求記号
くしゃみおじさん	オルガ・カブラル/作 小宮由/訳 山村浩二/絵	岩波書店	2021	92.Tカ
たんだのたんけん	中川李枝子/さく 山脇百合子/え	学研プラス	2021	91.Tカ
ねこ学校のいたずらペーター	アンネリース・ウムラウフ=ラマチュ/作 アダルベルト・ピルヒ/絵 杉山香織/訳	徳間書店	2021	92.Tウ
オノモロンボンガ アフリカ南部のむかしばなし	アルバナ・イヴァノヴィッチ=レア/再話 ニコラ・トレヴ/絵 さくまゆみこ/訳	光村教育 図書	2021	E.Mオ
わたしがテピンギー ハイチの おはなし (女の子の昔話えほん)	中脇初枝/再話 あずみ虫/絵	偕成社	2022	E.Mワ
酢ができるまで (すがたをかえるたべ ものしゃしんえほん17)	宮崎祥子/構成・文 白松清之/写真	岩崎書店	2021	61
ウィリアムの子ねこ	マージョリー・フラック/作・絵 まさきりこ/訳	徳間書店	2023	92.Tワ
ヌラリヒョン・パパにまかせな さい! ドロロン村のなかまたち	富安陽子/作 山村浩二/絵	理論社	2022	91.Tトミ
ワニのクロッカスなにができる? ?	ロジャー・デュボアザン/作 こみやゆう/訳	好学社	2023	E.W
えんどうまめばあさんとそらま めじいさんのいそがしい毎日	松岡享子/原案・文 降矢なな/文・絵	福音館書店	2022	E.イン
草はらをのぞいてみればカヤネズミ 日本でいちばん小さなネズミの物語	ゆうきえつこ/文 福田幸広/写真	小学館	2022	48.9
ひがたはたからばこ 青いカニみつけた ふしぎみつけた!	よしのゆうすけ/写真・文	徳間書店	2022	48.4
こんにちは、アンリくん	エディット・ヴァシュロン/文 ヴァージニア・カール/文・絵 松井るり子/訳	徳間書店	2023	92.Tウ
やまをうごかしたミン・ローさん	アーノルド・ローベル/さく こみやゆう/訳	好学社	2023	E.Y
どうぶつみずそうどう	かじりみな子/作	偕成社	2023	E.トウ
心をひらいて、音をかんじて 一耳のきこえない打楽器奏者エ ヴェリン・グレニー	シャノン・ストッカー/文 デヴォン・ホルズワース/絵 中野怜奈/訳	光村教育 図書	2023	E.コ
夏の小川にかがやく宝石、オニヤ ンマ 日本でいちばん大きなトンボ のくらし	筒井学/写真と文	小学館	2023	48.6

うらには、この夏のおすすめの本がのっているよ ➡

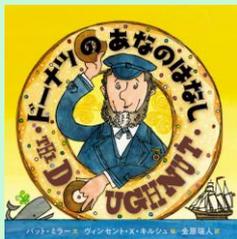
れいわ ねんど
令和7年度

なつやすみに、これよんで！

しょうがく ねんせい
小学1・2・3年生のみなさんへ

ねん がつ
2025年7月
た ましりつ としょかん
多摩市立図書館

もうすぐ まちにまった夏休み！この夏、図書館がおすすめする本を しょうかいします♪



『ドーナツのあなのはなし』

パット・ミラー／文 ヴィンセント・X.キルシュ／絵 金原瑞人／訳 廣済堂あかつき 2019年出版 請求記号:Eトケ
カラッとあがって中はふんわり。あまくておいしいドーナツ。

むかしむかし、ドーナツには、あなが開いていませんでした。じゃあ、あなを発明したのは一体だれでしょう。それは、170年前の、ある船長さんでした。

『歌がながてな人魚』

ルイス・スロポドキン／作 小宮由／訳 瑞雲舎 2020年出版 請求記号:92.T㊦

人魚のシンシアは、歌を歌うのがとても苦手。学校では、みんなと一ついに歌わせてもらえせん。けれどある日、事けんが起きて、シンシアの歌声がとても役に立ったのです。



『パインさんのむらさきのいえ』

レオナード・ケスラー／さく 小宮由／やく 大日本図書 2024年出版 請求記号:92.T㊧

パインさんの家は、バインドおりにある、ずら一つとならんだ 50 けんの白い家のひとつです。おなじ家がずら一つと 50 けんもならんでいるものですから、だれの家か分かりにくい！パインさんは、どうしたと思いますか？

『山の学校 キツネのとしよいいん』

葦原かも／さく 高橋和枝／え 講談社 2024年出版 請求記号:91.T㊡

山のふもとの小学校で図書館し書をしているかえでさんは、ある日、まどから図書館をのぞいているキツネに出会いました。キツネはかえでさんに、本をかし出す時に使う「ピッ、ピッていうの、どうしてもやってみたいんです。」と、言いました。



『ひき石と24丁のとうふ』

大西暢夫／著 アリス館 2024年出版 請求記号:61

岩手の山の中にあるミナさんは、90 さいをこえても1人でとうふを作っています。目が見えなくても、手で道具を使い、毎日24丁のとうふを作りつづけます。そのすがたや、山でくらすひびの写眞がとても美しい本です。

『シロツメクサはともだち』

鈴木純／著 ブロンズ新社 2024年出版 請求記号:47

春になると、公園や通学路などでたくさんのお花をさかせてくれる、みんな知ってるシロツメクサ。あなたは一体どこから来たの。わたしたちが知らないひみつやふしぎがたくさんあつたりするのかな。さがしにいこう！シロツメクサとそのひみつ。

